

2022 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	特定非営利活動法人暮らしのコツ研究所
活動テーマ	障害福祉・精神科医療等の支援関係者を対象としたトラウマについての研修

	

主催団体の代表自身十数年にわたり、障害福祉の精神分野にて支援を実践後、DV 等による被害者支援に従事したことから「トラウマ」の視点を持つことは当事者の安心安全感につながり、当事者理解に役立つと確信した。その経験から障害福祉や精神科医療関係者等に「トラウマ」をテーマにした研修を提供することは、トラウマの理解を広め、トラウマという共通言語を持てる機会となるとともに、より当事者に寄り添ったサポートにつながり、二次被害を防ぐ機会となると考えた。

講師は、米国からの最新情報を取り入れながらトラウマについての研修を全国的に展開されている NPO 法人レジリエンスに依頼し、8 月～1 月、月 1 回土曜日に 4 時間の研修を開催した。会場/オンライン参加、アーカイブ視聴とハイブリッド形式で実施し、「トラウマにまつわる基本的知識、人間関係における境界線、アタッチメントとトラウマ、解離・解離性同一性障害、当事者に寄り添った支援のために」を学んだ。

医師、臨床心理士、法務官、ソーシャルワーカー、家庭児童相談員、教員、スクールカウンセラー、フェミニストカウンセラー、障害学生支援コーディネータ、作業療法士等、様々な職種の支援者の参加があり、多様な支援の現場でトラウマの視点を取り入れられることが期待できる。

質問事項には、支援の悩みだけでなく、ご自身が抱えるトラウマや生きづらさに関連した質問もあり、自身の反応や傾向について気づく機会となった。

アンケートでも、全講座で「気づきや得るものがあった」と回答している人が 100%である。また、自由記述からも学んだことを実践の場で活かせる機会となったことが伺える。

本助成金で 2 年連続「トラウマ」をベースとした研修が開催でき、トラウマに関する知識を普及が広がり、地域で安心・安全に暮らせる社会になる一助になったのではないかと考える。